

研究主題 新学習指導要領に基づく指導方法の研究と国語科教員の資質向上

～研究授業・研究協議会・講演会等による教材・指導法の研究と開発～

I 本研究会（都国研）の概要

本研究会は東京都内の公立私立の高等学校・中等教育学校・高等学校附属中学校の国語科教員並びに国語科教育関係者のための研究団体である。全国の国語教育研究会の中でも主要な役割を果たしており、60年以上にわたって日本の国語教育に関わってきた研究会である。

常に時代を先読みし、次の時代に必要な国語の力を育成するための教材研究・指導法研究並びに国語科教員の研修を行っている。

II 研究の目的

新学習指導要領では、特に国語科において大きな改編が行われ、各科目の内容と取扱いに大きな変更があった。各校の国語科の教員はともすれば手探りで指導計画を練ることになる。

そこで本研究会では対面での研究授業・研究協議会を本格的に再開させ、新学習指導要領に基づく実際の授業・評価をどのように行ったらよいか、現場の教員の手助けとなるような機会の提供を行うことを主な目的とした。

III 研究の方法（講演会）

5月27日（土）総会での講演会（指導法）

「共通テストと高校での学習について」

講師 代々木ゼミナール 船口 明 氏

現代文問題へのアプローチ法を、氏が担当した生徒たちの実例を挙げながら解説。悩める教員に寄り添う、心温まる講演だった。

指導法も大切だが、生徒をよく観察し、どこにつまずいているのかに気が付くことの大切さを説いていた。

III 研究の方法（研究集会）

【夏季研究集会】

8月1日（火）

会場 都立小金井北高等学校

内容「高等学校国語科評論教材
とメディア・リテラシー」

講師 東京学芸大学大学院

教育学研究科

准教授 中村 純子 氏

【冬季研究集会】

12月27日（水）

会場 都立小金井北高等学校

内容「批評理論は文学教育に貢
献できるのか？」

講師 立教大学文学部長

文学科日本文学専修

教授 金子 明雄 氏

Ⅲ 研究の方法(研究授業)

【研究授業①】

6月15日(木)

会場 都立調布北高等学校

科目名 「古典B」(高校3年)

単元名 問題演習(漢文)

授業者 都立調布北高等学校 主幹教諭 床 篤志

【研究授業②】

9月26日(火)

会場 都立西高等学校

科目名 「現代の国語」(高校1年)

単元名 問題演習(現代文)

授業名 東大の入試問題を「作る」

～作問者の視点に立つことで本文を構造的に把握する力を高める～

授業者 都立西高等学校 教諭 鈴木 良幸

【研究授業③】

10月31日(火)

会場 都立三鷹中等教育学校

科目名 「言語文化」(高校1年)

単元名 歌物語『伊勢物語』

授業者 都立三鷹中等教育学校 教諭 田島 有希

Ⅳ 研究の成果と課題

本研究会が長年積み上げてきた研究と実践の場所づくりが今年度も機能した。集会形式での講演会による知識吸収、研究授業での指導法の磨き上げ、研究協議会での相互研鑽、学習指導要領に基づく指導法と評価の研究、懇談の場での自由討論等、複数の研修機会の提供により、東京の国語科教員の研鑽と指導力向上に資するところ大であった。

今年度は全国高等学校国語教育研究連合会(全国連)の開催県が山梨・東京であった。大会中の文部科学省初等中等教育局視学官からの記念講演により、新学習指導要領に基づく指導と評価についてあらためて確認することができた。また、都内12校で実施した研究授業は、全国から来場した教員も参加して盛況となり、東京の教員にとって大きな励みとなった。

<令和5年度連絡先>

団体名		東京都高等学校教育研究会	
代表者	所属	都立保谷高等学校	
	職氏名	校長 平林 正男	
	連絡先	042-422-3223	
事務局	所属	都立松が谷高等学校	
	職氏名	副校長 加藤 和宏	
	連絡先	042-676-1231	
団体ホームページ	URL	http://www.kokugo.gr.jp/to-kokugo-kenkyu.html	
	二次元コード		